



天文台だより

銀河の森天文台
2023 夏号
Vol.100

7/8(土)、第12回陸別スターライトフェスティバル開催します！



©角川文化振興財団
国立天文台 梅本智文氏

講演会「宇宙に生命はあるか？」は、7月8日(土)午後7時～午後8時30分開催！

7月8日(土)に第12回陸別スターライトフェスティバルを開催します。銀河の森天文台は平成10年7月7日にオープンしました。今年は開館25周年の記念の年になります。フェスティバルの日は入館者先着200名様に25周年記念オリジナル缶バッジをプレゼントします！

フェスティバルでは、国立天文台梅本智文氏をお招きし、午後7時より講演会「宇宙に生命はあるか？」を開催します。講演会は子供にも分かり易い楽しいお話です。質問タイムもありますので、日頃の宇宙の疑問をどしどし質問しましょう！講演会の時間に合わせて、町内無料送迎バスを運行しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

また、この日は開館時間を延長して夜12時まで開館しますので、講演会後もゆっくりと星空を楽しむことができます。さらに、屋上広場には望遠鏡設置スペースを用意します。ぜひご自分の望遠鏡をご持参下さい。皆様の愛機と一緒に夜空を楽しみましょう。

「館長コラム」～だより100号～

天文台だよりが100号となりました。年間4回発行していますので、25年が過ぎたということです。第1号の編集には私も関わりました。オープンしたばかりの天文台が落雷を受けて115センチ大型望遠鏡「りくり」が故障、半年以上も動かないという状況になり順風満帆のスタートではなかったことを思い出します。30センチ小型望遠鏡で最初の5月の大型連休を乗り切ったのでした。りくり望遠鏡は、公開天文台としては数少ない人工衛星を追跡できる機能を持っています。国際宇宙ステーションの組立過程などを撮影してきました。当館のテーマでもあります低緯度オーロラの観測も行ってきました。惑星の観望、流星群の観察会、簡易ドームプラネタリウムによる、カナダからのオーロラ生中継、関係研究機関にご協力いただきイベントを開催するなどしてきました。ここ数年のコロナ禍の影響がありましたが、累計で3月末22万7千人の来館者がありました。当館の設立目的としては、町外からの交流人口の増加、リアルタイムで変化する宇宙を体験、体感することの楽しさを実感していただくことでした。今年から数年は、低緯度オーロラの出現、来年は、新彗星の接近、7年後には、銀河の森天文台で金環食など観測できます。科学する楽しさや都市との交流を念頭に運営していきたいと思えます。これからも紙面でお伝えしていきますのでよろしくお願いいたします。



館長
津田浩之(双子座)

夏のイベント情報 !!

☆第12回陸別スターライトフェスティバル

開館日を記念して、皆様と一緒に星空を楽しむイベントを開催します。この日は夜12時まで開館時間を延長します！

開催日時：7月8日(土) 午後2時～午後12時

講演会：午後7時～午後8時30分

☆天の川と夏の天体観望会

イベントの期間中は月明かりの影響が少なく、暗い夜空に天の川を楽しめます。望遠鏡では天の川周辺の夏の天体を観望します。ぜひ、ご来館ください。

開催日：7月12日(水)～23日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

今年のペルセウス座流星群は8月13日午後5時に極大時刻を迎えます。流れ星が多いと予想されるこの期間に観望会を開催します。

開催日：8月11日(金)～13日(日)

説明会：午後7時30分から

☆土星と夏の天体観望会

見頃を迎える土星と夏の天体を観望します。望遠鏡では、土星の輪などじっくり観察することができます。

開催日：8月23日(水)～9月3日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆名月観望会

今年の中秋の名月は9月29日で満月です。ぜひ、お月見にご来館ください。

開催日：9月28日(木)、29日(金)

説明会：午後7時30分から

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:13	12.9	17:04	1:10
7月15日	3:54	19:07	26.9	1:05	17:32
8月 1日	4:11	18:51	14.4	18:56	2:43
8月15日	4:26	18:32	28.4	2:40	18:23
9月 1日	4:45	18:04	15.7	4:45	18:04
9月15日	5:01	17:39	0.1	4:47	17:53

天文行事&暦

7月

- 3 ○満月
- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
金星が最大光度(-4.7等)
- 8 第12回陸別スターライトフェスティバル
- 12-23 天の川と夏の天体観望会
- 18 ●新月
- 23 大暑(24節気:太陽黄経120°)

8月

- 3 ○満月
- 8 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 10 水星が東方最大離角
(光度:0.4等, 離角:27°.4)
- 11-13 ペルセウス座流星群観望会
- 13 ペルセウス座流星群が極大
(PM5時 最大50個/時)
- 14, 15 天文台特別開館
- 16 ●新月
- 22 旧七夕
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 23-9/3 土星と夏の天体観望会
- 28 土星が衝(0.4等, 視直径19".0)
- 31 ○満月

9月

- 8/23-9/3 土星と夏の天体観望会
- 8 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 15 ●新月
- 19 金星が最大光度(-4.8等)
- 20 海王星が衝(7.7等, 視直径2".4)
- 22 水星が西方最大離角
(光度:-0.3等, 離角:17°.9)
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 28, 29 名月観望会
- 29 ○満月
中秋の名月



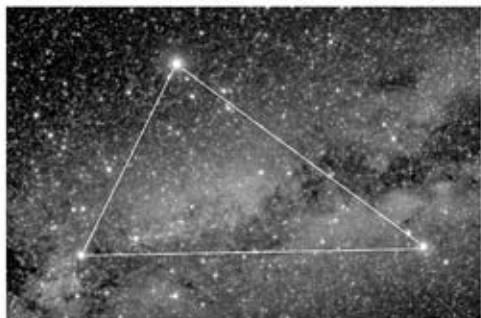
季節の星探し「夏の大三角」

今回は、夏の星空を代表する「夏の大三角」の探し方を解説します。夏の大三角とは、こと座のベガとわし座のアルタイル、はくちょう座のデネブの3つの1等星を結んだ比較的見つけやすい星の並びです。

まずは暗くなった空で、ベガを見つけてみましょう。7月の午後9時頃であれば、東の空を見上げたところが一番明るく輝く星がベガです。星は毎日少しずつ早く昇るようになるため、8、9月頃は同じ午後9時頃でもベガの位置は真上近くや西寄りになるので注意してください。次はベガを目印に、2つの1等星を探しましょう。ベガよりも少し南東の方角で明るく光る星がアルタイル、北東～東側のやや明るい星がデネブです。

街や月の光が無い星空がきれいな場所では、ベガとアルタイルの間を流れる天の川が見えるかもしれません。ベガとアルタイルは七夕の織姫と彦星としても知られています。

この時期に見頃を迎える天体は他にもたくさんあります、ぜひ当館へお越しください! (三)



ペッコカめぐり「ろうそくもらい」

「ろうそくもらい」を知っていますか? 北海道の一部の地域で七夕の夜に行われているハロウィンに似た行事で、歌を歌いながら近所の家をまわりローソクやお菓子をもらうというものです。残念ながら陸別では行われていないようですが、私が子供の頃に住んでいた町ではろうそくもらいが行われていました。暗くなった町を懐中電灯を灯して歩いていましたが、上級生は空き缶で作ったランタンを下げているのを羨ましく思った記憶があります。歌は各地で違うようで、私の地域では「ローソク出ーせー出ーせーよー 出ーさーないとー かつちやく(引っ掻くという意味)ぞー おーまーけーにー喰い付くぞー」と歌っていました。ろうそくがもらえないと引っ掻いたり喰いついたりするというのですから、本当にハロウィンそっくりですね。今ではだんだんと行われる地域が減ってきているようなのが残念です。私が住んでいたあの町では、今でもろうそくもらいが行われているのでしょうか? (中)



天文台からのお知らせ

☆ 8月14日、15日は月曜・火曜日ですが、特別開館いたします。

プラネタリウム上映再開のお知らせ

コロナ感染拡大防止のため、中止していたプラネタリウム上映を定員、上映時間を変更し再開しました。
定員: 10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
上映時間: 午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp Twitter: @ginganomori_obs

